

丸子地域自治センター

令和2年度 重点目標

- 1 人と環境に優しい安全・安心なまちづくり
- 2 産業が育つ地域づくり
- 3 参加と協働によるまちづくり
- 4 現代のライフスタイルにあった丸子温泉郷の振興

重点目標	人と環境に優しい安全・安心なまちづくり		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	1位
総合計画における 位置付け	第2編 自然・生活環境 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全・安心に暮らせる環境の整備		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 結婚・子育てしたい戦略 ほか 施策体系 きめ細やかな出産・子育て支援推進 など		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 加・協働する制度づくり (2) 支える財政基盤の改革 直し		イ. 多様な主体が市政に参加 エ. 受益と負担の在り方の見直し	上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	人と自然に優しい誰もが住みやすい環境のまちづくり	
現況・課題	東日本台風による被災施設の早期復旧と交通量の多い通学路の歩道整備や、保育園統合に伴う周辺道路の整備を進めるとともに、安全確保に向けた道路整備と合わせ国庫補助事業の制度に基づき、地域の貴重な観光資源である千曲川等の河川を活用した魅力創出のための河川空間の整備事業、治水対策を目的とした河川事業整備事業による安全・安心なまちづくりを推進する必要があります。					
目的・効果	道路や歩道、河川の整備により、歩行者の安全確保や内水対策と水辺環境整備の充実が図られ、被災施設復旧により利便性と安心・安全で住みやすいまちづくりにつながる。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	【東日本台風による被災箇所の早期復旧（上田市事業）】 (1) 道路災 向井6号線・丸子北御牧線・深山5号線・丸子公園辰ノ口線・霊泉寺峠線 5路線 (2) 河川災 箱置沢川・所沢川・鞍骨沢川・宮ノ前川・中洞沢川・八郎沢川・熊倉沢川・深山沢川・細尾沢川 (1)・細尾沢川 (2)・御屋敷沢川 1 1 河川 (3) 橋梁災 小屋坂橋・三角橋・馬坂橋 3橋 全 19 箇所	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	災害復旧事業で実施中であり、19箇所の早期復旧を施行中 (1) (2) (3) 小屋坂橋・三角橋の完了 (3) 馬坂橋は、下部工完成	(1) 〔道路災〕完了2路線、施工中3路線 (2) 〔河川災〕施工中10路線、入札待ち1路線 (3) 〔橋梁災〕施工中2路線、設計中1路線	(1) 〔道路災〕5路線完了 (2) 〔河川災〕3河川完了、7河川施工中、1河川入札待ち (3) 〔橋梁災〕1橋梁完成、1橋梁下部工施工中、1橋梁施工中	
②	【東日本台風による被災箇所の早期復旧（県事業）】 (1) 橋梁災 内村橋 橋長=43.0m幅=13.3m (2) 災害関連緊急砂防事業 ①梅ノ木沢 透過型堰堤 1基 ②茂沢 透過型堰堤 1基 ③見切沢 透過型堰堤 1基 ④栗山沢 透過型堰堤 1基 ⑤向井沢 透過型堰堤 1基 ⑥大沢 透過型堰堤 1基	(1) 4月～3月 内村橋完成予定 令和4年7月末頃 (2) 4月～3月	(1)～(2) 県事業で実施中であり、早期完成に向けて県と連携をして実施	(1) R2. 8. 28に第2回の地元説明会を実施 工事完了工期が約8ヶ月短縮予定 (R3. 11末 完了予定) (2) ①梅の木沢 堰堤の工事用道路を施工中 ②茂沢 堰堤の工事用道路を施工中 ③耳切沢 堰堤の工事用道路を施工中 ④栗山沢 堰堤の工事用道路を施工中 ⑤向井沢 一部用地交渉中 ⑥大沢 堰堤の工事用道路を施工中 本堤下流の副堰堤の設計業務発注予定	(1) 下部工施工中、上部工工場製作中 (R3. 11月末の橋梁完成予定) (2) ①梅ノ木沢 砂防堰堤を施工中 ②茂沢 砂防堰堤を施工中 ③耳切沢 砂防堰堤を施工中 ④栗山沢 砂防堰堤を施工中 ⑤向井沢 砂防堰堤を施工中 ⑥大沢 砂防堰堤を施工中	
③	【安全性・利便性向上のための道路整備促進】 (1) 〔都市再生〕箱置線道路改良事業 (2) 〔都市再生〕上丸子石井線道路改良事業 (3) 〔公安〕金井線道路改良事業	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 用地契約 N=9件、建物等補償契約 N=6件 (2) 用地契約 N=1件、建物等補償契約 N=4件 (3) 補償算定業務 N=1件	(1) 5名の地権者と用地交渉中 1名の建物補償の契約済 (2) 建物等補償3件 契約済 (3) 補償算定業務N=1件 発注済	(1) 更に3名追加で8名と交渉中 合計5名の建物補償及び5名の用地契約の締結完了 (2) 用地契約1件及び建物補償4件の契約完了 (3) 前期中に目標達成	
④	【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】 (1) かわまちづくり事業 詳細設計業務 (2) かわまちづくり事業 協議会、分科会の開催	(1) 4月～9月 (2) 4月～3月	(1) 詳細設計業務 N=1件 (2) かわまちづくり協議会、分科会 各2回開催	(1) 詳細設計業務N=1件 発注済 (2) 協議会、分科会 各1回開催	(1) 業務内容を一部変更し、完了 (2) コロナ禍で調整を図り、協議会順延	
⑤	【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】 (1) 国道254号（平井・荻窪）バイパス (2) 荻窪丸子線（下和子：その2）：歩道整備等事業 (3) 芦田大屋（停）線（南方工区）：歩道整備事業 (4) 別所丸子線（南原工区）：歩道整備事業 (5) 国道254号 東内・西内地域で「道の駅」の計画検討	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月	(1)～(4) 県事業で実施中であり、早期完成に向けて県と連携をして実施する。 (5) 令和2年9月に三才山トンネル無料化により、料金所（トイレ等）が無くなることから、県と協議をして道の駅の設置について検討を進める。	(1) R2. 9. 2に平井バイパスの一部が供用開始 (2) 1名の地権者と用地交渉中 (3) 一部、業者が決定されず、入札待ち (4) 最終の工事区間の発注済 (5) 庁内で方向性を決定し、事業実施に向けて関係機関と協議中	(1) 平井バイパスの延長980m中670mが完成 残り310m区間について地権者と県が交渉中 荻窪バイパスは、用地取得率87%達成 工事1,600m中、約780m工事を発注 早期完成に向けて県と連携し事業遂行 (2) 1名の地権者と交渉中 (3) R3年度の上半期の完成に向けて施工中 (4) R3年度の上半期の完成に向けて施工中 (5) R3年度当初予算（内示）の確保	
⑥	【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】 (1) ごみ分別の徹底と生ごみ減量化施策の啓発 (2) 容器リサイクル法に基づくプラごみの適正分別の周知	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 自治センターだより等による周知 (2) プラごみの未回収件数対前年度比5%削減	(1) 適正なごみの分別と収集日の変更について等の広報 ・丸子地域自治センターだより 9月号掲載 ・丸子地域ゴミの出し方カレンダー 全戸配布 ・丸子地域内ごみ集積所に掲示看板設置 483箇所 (2) プラごみ未回収件数 9月末現在456件 前年度同期798件	(1) 適正なごみの分別と収集日の変更について等の広報 ・丸子地域自治センターだより 12月号掲載 ・年末年始に向けた適正な分別等について ・令和3年丸子地域ゴミの出し方カレンダー 全戸配布 (2) プラごみ未回収件数 対前年度比59.9% 令和2年度725件 / 令和元年度1,211件	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

令和2年度 重点目標管理シート

重点目標	産業が育つ地域づくり		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第1章 次世代へつなぐ農林水産業の振興 第2節 農林業の安定的な生産体制の整備と地域化の促進		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 上田で働きたい戦略 施策体系 農林業の稼ぐ力の創出		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1)住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 イ多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (2)支える財政基盤の改革 工受益と負担のあり方の見直し	上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	上田市初のワイナリーとなる「梔子ワイナリー」は、地域の新たな魅力や経済的な効果を生み出し、地域産業や観光振興に寄与するものと期待されます。また、農商工連携した地域の6次産業化による地域活性化が求められていることから、「西洋梨6次産業産地化プロジェクト」をよりいっそう推進し、丸子地域の農業振興及び産地化を目指していきます。					
目的・効果	梔子ワイナリーオープンにより多くの観光客が想定されます。評価の高い高品質なワインの産地という地域資産があることから、地域産業・経済・自然・未来への共生を図ることによる地域活性化が期待できます。西洋梨産地化プロジェクトにより生産者と加工・販売業者等との連携を図り、地域の6次産業化を構築していくことにより、地域農業及び経済の活性化が期待できます。					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①【地域の特性を活かした農業とワイン産業振興】 (1) キリングループとのワイン産業振興を軸にした地域活性化 ①人材育成・産業振興・青少年育成のプロジェクト推進 ②プロジェクト事務局運営 (2) 梔子ワイナリーと地域との共生 ①メルシャン（株）と市関係部局との共同会議を随時開催し、ワイナリーを活かした地域活性化 ②地元の農業・事業者等の参加促進を働きかけ、地域の農産物の周知PRや地元事業者の活性化 (3) 若手農業者グループ「HEARTBEATまるこ」による地域活性化に対するキリンCSVとタイアップした支援 ①「HEARTBEATまるこ」と地元飲食店との連携による、米を食材としたワインに合う料理の開発やイベント及びツーリズムの開催や運営への支援。 ②「HEARTBEATまるこ」と地元団体との連携・協力による地域活性化イベントの開催	(1) ①4月～3月 ②4月～3月 (2) ①4月～3月 ②4月～3月 (3) ①4月～3月 ②4月～3月	(1) ①プロジェクトチーム4班での活動実施 ②7月にオールスタッフミーティング開催、12月に報告を兼ねた総会開催 (2) ① マンズワイナリー（小諸）や陣場台地研究会主催イベントと連携した梔子マルシェへの市内・市外客の誘客増 ②地元参加延べ20団体（企業） (3) ① (1)の取組みと連携したツーリズムのテストツアー開催 ②陣場台地研究会やワイナリー、西洋梨6次産業化プロジェクトとの連携イベント開催	(1) ① 地域リーダー洗出し・イベント計画・BYO試行・環境保全授業等を4つのワーショップで検討・推進した ② 5月・7月・9月にスタッフミーティングを行い、各ワーショップの進捗状況を確認 (2) ① 新型コロナの影響でイベントを見送り。関係部局と連携し、ふるさと納税返礼品追加、路線バス停留所新設やヴィンヤード世界30位等の広報で誘客を図った ② 春の梔子マルシェは、コロナ禍のなか開催を見送り再調整を図った (3) ① 10月末の農業体験型観光ツーリズムツアー開催に向け、会議に参加し助言や支援を行った ② 8月22日に夏のマルシェを開催し、地元飲食店と連携し「すしブリトー」や、西洋梨ジャム「まるこの夢」を販売	(1) ① プロジェクトチーム4班で地域リーダー候補のヒアリング・イベント計画・小学校での環境保全授業等を実施 ② 7月のオールスタッフミーティングはコロナ禍で中止となったが、5月・7月・9月のスタッフミーティングは開催し、12月に年間の活動等を報告する会議を開催 (2) ① 新型コロナの影響でイベントは出来なかったが、関係部局と連携し、路線バス停留所新設や案内看板2箇所設置を行い、コロナ収束後の市内外の誘客を実施 ② 夏（8/22）と秋（10/24、25）の梔子マルシェは、規模を縮小して開催し、地元団体中心に延べ10団体が参加（来場者合計1,320人） (3) ① 11月21日に農業体験＆ワイン日帰りツアーを開催し、19名が参加、農体験を通じ高評価をいただき来年度の礎となった ② 10/24、25のマルシェでは地元飲食店と連携し「すしブリトー」140本を即完売し、併せて西洋梨ジャム「まるこの夢」も販売することで、効果的なPRを実施		
②【地域の6次産業化の推進】 (1) 西洋梨産地化プロジェクト事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 首都圏等での商談会展及及び販路の新規開拓目標 2件	(1) 新型コロナの影響から首都圏の出展はできず、9月に農産物直売所での直販3日間や、和菓子屋でパフェの日の西洋梨が採用される等の販路拡大を図った	(1) 新型コロナ過のなか、首都圏の出展はまったくできなかった。来期にむけオンラインで新宿高野に商品PRを行い、商談会に向け連携を図った		
③【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】 県営 中山間総合整備事業（美の郷地区）の事業推進 ①萩窪工区 ②梨ノ木工区 ③和子工区 ④赤岩工区 ⑤日影工区 ⑥高梨工区 ⑦大塩工区 ⑧穴沢工区 ⑨下和子工区 ⑩虚空蔵工区 ⑪裏工区	①～⑪ 4月～3月	①頭首工改修 N=1箇所 ②道路改良 L=360m ③水路改修 L=360m ④水路改修 L=180m ⑤落石防護柵 L=78m ⑥用地買収 N=2件 ⑦用地買収 N=2件 ⑧用地買収 N=2件 ⑨測量設計業務 N=1件 ⑩測量設計業務 N=1件 ⑪測量設計業務 N=1件	①設計業務に伴う河川管理者協議中 ②R2施工部分について工事着手 ③R2施工部分について工事着手 ④6月工事発注したが受注者なし再度発注調整中 ⑤工事が完成 ⑥事業用地について地元調整中 ⑦測量設計業務に伴う地元調整中 ⑧測量設計業務に伴う地元調整中 ⑨測量設計業務に伴う地元調整中 ⑩測量設計業務に伴う地元調整中 ⑪事業着手について他工区等調整中	県営中山間総合整備事業（美の郷地区）は県、地元関係者等と協議を実施し事業を推進。 ①設計業務に伴う河川管理者と協議を継続中 ②令和2年度施工部分が完成 ③和子工区が完成 ④受注業者が決まらず、令和3年度再度発注予定 ⑤日影工区が完成 ⑥事業用地について、関係者全員の承諾済 ⑦設計原案承諾され、用地立会いが完了 ⑧設計原案承諾され、用地立会いが完了 ⑨設計原案の承諾済 ⑩設計原案承諾され、用地立会いが完了 ⑪事業計画を説明、測量設計業務に着手		
④【地域資産を活かした産業・地域振興】 (1) 梔子ワイナリー・あさつゆ・信州国際音楽村の3施設連携による産業・地域振興	(1) 4月～3月	(1) 連携に向けた支援	(1) 新型コロナの影響でイベント等中止となり連携方法等検討調整中	(1) コロナ禍によりイベント等中止となり3施設連携を図ることができなかったが、各施設にパンフレットを置き、周遊を即した		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

重点目標	参加と協働によるまちづくり			部局名	丸子地域自治センター	優先順位	3位
総合計画における 位置付け	第1編 自治・協働・行政 第1章 自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現 第2節 地域内分権による地域の自治の推進			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 ひと・地域の輝き戦略 施策体系 地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり エ 業務の効率化・窓口サービスの利便向上 (3) 市民満足度を向上させる人・組織の改革 カ 地域内分権による地域の自治の推進			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	「つながり」と「多様性」を大切に市民総参加のまちづくり	
現況・課題	地域内分権による地域の自治のさらなる推進を目指し、「丸子まちづくり会議」の運営基盤の確立に向け協働する体制づくりをする必要があります。パートナーシップ協定による市・市商工会・丸子修学館高校が連携して行う事業について支援し、市民協働に対する機運の醸成を図る必要があります。また、建築後40年経過した自治センターの耐震補強工事とワンストップサービスなど窓口サービスにおける利便性向上を図る改修工事を進めます。						
目的・効果	丸子まちづくり会議と行政が協働した事業に取り組むことにより、地域課題の解決や地域活性化につなげます。また、自治センターの耐震補強工事、改修工事を進めることにより来庁者や地域住民の安心感と地域防災の拠点施設として災害時にも機能が果たせ利便性も向上します。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	【丸子まちづくり会議の運営基盤づくりに向けた連携・協働の取組み】 (1) 丸子まちづくり会議との協働による事業の取組み (2) 地区会議との協働による事業の取組み	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 丸子まちづくり会議との連携事業の取組み (2) 地区会議への参画	(1) 連携事業について、モデル地域を決めて試行していく中で、詳細について協議継続中 (2) コロナ禍での事業実施は、必要最小限に限定するか、中止せざるを得ない状況のため、参画については見合わせている		(1) 塩川地区会議で始めた「高齢者地域包括ケアシステムの検討」は、丸子全域に必要な取り組みであることから、まちづくり会議としても参画し、システム構築に向けて関係事業者と連携を継続中 市所有のファーストビルの空きスペースをまちづくり会議の要請を受け貸与し、誰もが気軽に立ち寄ることのできる憩いの場、ミニギャラリー等として市民に開放する取り組みに対する支援済 (2) コロナ禍で、参画としては中止としたが必要最小限の事業実施済	
②	【自治センター整備事業】 (1) 自治センターの耐震化・改修工事 (2) 自治センター設備改修バリアフリー工事	(1) 4月～3月 (2) 4月～10月	(1) 耐震化・改修工事の竣工 (2) 庁舎のバリアフリー計画策定	(1) 耐震化・改修工事の進捗は、ほぼ予定とおりで9月末約58%。 (2) 庁舎のバリアフリー計画策定では、施設個別計画(素案)作成済		(1) 耐震化・改修工事の進捗は、3月末に完成引渡済 (2) 庁舎のバリアフリー計画策定では、施設個別計画(案)作成済	
③	【パートナーシップ協定による市民協働事業】 (1) 市・市商工会・丸子修学館高校の連携して行う事業への取組み	(1) 4月～3月	(1) 継続事業を充実させ新規事業により、中心市街地の活性化と若者の人材育成を図る。	(1) 5月27日に事業計画を協議。コロナ禍で各種イベントは中止とした。今後継続事業について、できる事業を精査し、可能な範囲で実施を検討中 学校要望の新規事業は、新型コロナ感染拡大の影響により、縮小する方向で調整と準備		(1) コロナ禍で各種イベントは中止としたが、5月27日に事業計画を協議済 学校要望の新規事業は、新型コロナ感染拡大の影響により、当初予定していたインターシップは実施できなかったが、丸子の歴史について講師を呼んで講演会を開催済 丸子修学館高校の生徒による地域貢献活動として、経年劣化により塗装の剥がれている露草橋の欄干塗装実習及び地域の魅力と現状を知る授業の一環としてごみ拾いの実施	
④	【市民サービス向上に向けた更なる窓口業務の充実】 (1) 丁寧かつ的確な窓口や電話対応と迅速かつ正確な事務処理。 (2) 丸子地域自治センター耐震化工事に伴い、ワンストップサービス実現のため再配置。	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 窓口や電話対応に対する苦情、事務処理誤り「0」を目指す。 (2) 保健センター部門、高齢者部門、福祉・子育て部門のワンストップサービス実施	(1) 苦情・問合せ等について大きなトラブルに至ることなく、処理することができた。軽微な事務処理誤りが発生したが、情報を共有することにより、再発しないよう処理方法を再度確認済 (2) 自治センター耐震化工事中により、仮事務所について来庁者を混乱させることなく、案内が出来るよう窓口カウンターに職員を配置する等工夫の実施		(1) 通年を通じて、市民等からの苦情や問合せ等、大きなトラブルが生じることはなく対応済 軽微な事務的誤り等が発生した際には、速やかに改善方法を検討するなど、再発防止に努めた (2) 自治センター耐震化工事中に伴う事務所配置移動の際には、来庁者の利便性の低下を招くことのないよう、総合案内所を設けるなど、市民サービス向上に努めた	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	現代のライフスタイルにあった丸子温泉郷の振興			部局名	丸子地域自治センター	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 訪れたい・住みたいうえだ戦略 施策体系 地域資源を生かした知名度アップと交流促進			
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 口を増やす体制の確立	ア 移住・定住・交流人	上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	鹿教湯温泉、大塩温泉、霊泉寺温泉からなる丸子温泉郷は、かつて国民保養温泉地として豊かな自然や医療機関との連携などの地域特性を活かし、多くの宿泊客で賑わいましたが、温泉保養事業の終了など、時代の変化により観光客の減少傾向が続いています。こうした状況の中、丸子温泉郷では若い世代の旅館経営者などが中心となった複数のグループが立ち上がり、「地域の活性化」という共通目的の実現に向けた様々な活動が始まっています。また、公益社団法人日本理学療法士協会、環境省、上田市による「温泉を活かした健康づくりに関する協定」による取組も実施しています。しかし、こうした活動をいかに誘客に結び付けるかが課題となっています。						
目的・効果	「健康の湯」「回復力の湯」として、国民保養温泉地指定の健全な保養地である丸子温泉郷のイメージを大切にしながら、現代のライフスタイルにもあった滞在型観光の魅力をPRし、来客数増加を目指します。併せて「地方創生推進交付金 健康幸せづくりプロジェクト事業」による「健康の里」推進事業を活動団体と協働で実施し、からだも心も元気な「健幸都市うえだ」の実現に向けた取り組みを推進し、地域活性化を図ります。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	【温泉を活かした地域活性化事業の推進】 (1)現代のライフスタイルにあった温泉地を目指す「環境省」（新湯治プラン）の推進 (2)鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトマスタープランⅡに基づく取組みへの参画 (3)霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトの取組みへの参画による丸子温泉郷の誘客の推進	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)三者協定に基づく「健康と温泉に関するフォーラム」の実施 (2)「ポールを使ったウォーキングフェスタ」の参加者前年対比5%増 (3)イベント支援	(1)2～3月ごろ開催に向け検討・調整中 (2)実行委員会に参加（3回）し、スタンプラリー形式のイベントを企画・調整中 (3)新型コロナの影響によりイベント中止 ・新型コロナで経営が悪化している丸子温泉郷の宿泊業者に対し宿泊定員数や温泉使用料に応じた支援をしたほか、観光協会や旅館組合の会費収入見込み相当額を支援し、観光振興を下支えした		(1)3月17日に現地開催とオンライン通信によるフォーラムを開催し、ワーケーション、サテライトオフィス等の講演を実施 (2)コロナ禍により実施内容を変更し、11月1日から2月28日までの期間で鹿教湯温泉内を周遊するスタンプラリーを実施 (3)コロナ禍によりイベントは中止となったが、丸子温泉郷の宿泊業者に対し宿泊定員数や温泉使用料に応じた支援を実施したほか、観光協会や旅館組合の会費収入見込み相当額を支援し、観光振興を下支えした	
②							
③							
④							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			